

12. 社会的要因及び生活習慣と抑うつとの関連：NIPPON DATA2010

研究協力者 鈴木 春満（滋賀医科大学リーディング大学院 大学院生）
研究分担者 門田 文（滋賀医科大学アジア疫学研究センター 特任准教授）
研究分担者 奥田奈賀子（人間総合科学大学人間科学部健康栄養学科 教授）
研究分担者 早川 岳人（立命館大学衣笠総合研究機構地域健康社会学研究プロジェクト 教授）
研究分担者 西 信雄（医薬基盤・健康・栄養研究所国際産学連携センター センター長）
研究分担者 中村 保幸（龍谷大学農学部食品栄養学科 教授）
研究分担者 有馬 久富（福岡大学医学部衛生・公衆衛生学教室 教授）
研究協力者 柳田 昌彦（同志社大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 教授）
研究協力者 八谷 寛（藤田保健衛生大学公衆衛生学講座 教授）
研究協力者 山縣然太郎（山梨大学医学部社会医学講座 教授）
研究協力者 佐藤 敦（滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 大学院生）
研究協力者 宮川 尚子（滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 特任助教）
研究分担者 大久保孝義（帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座 教授）
研究分担者 岡村 智教（慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学 教授）
研究分担者 上島 弘嗣（滋賀医科大学アジア疫学研究センター 特任教授）
研究分担者 岡山 明（生活習慣病予防研究センター 代表）
研究代表者 三浦 克之（滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授）
NIPPON DATA2010 研究グループ

【背景】

抑うつ状態は人々の生活の質や日常生活に必要な基本的な活動を低下させ、社会的、経済的損失となる。一次及び二次予防などの対策を行うには抑うつ状態の特性や要因を明らかにする必要がある。これまで抑うつ状態と精神的ストレスの関連については報告されているが、全国の地域住民を対象にして社会的要因や生活習慣との関連を検討した報告は少ない。

【目的】

全国の地域住民を対象に社会的要因と抑うつ尺度 Kessler 6(K6)の関連を検討する。

【方法】

平成 22 年国民健康・栄養調査に並行して実施した循環器病の予防に関する調査（NIPPON DATA2010）参加者で同年の国民生活基礎調査結果を突合した 2807 人のうち、データ欠損者及びうつ病の治療歴があるものを除いた 2760 人（成人男性 1179 人、女性 1581 人）を解析対象とした。

抑うつ尺度 K6 が 9 点以上 (抑うつ傾向) を従属変数として、ロジスティック回帰分析によって多変量調整済みオッズ比 (OR) (95%信頼区間) を算出した。Model1 は婚姻状況、就業状況、年齢調整をし、Model2 は、Model1 に加え、1 ヶ月の等価支出、健康保険の加入状況を調整し、Model3 は、さらに、飲酒状況、喫煙状況、既往歴数 (循環器疾患、糖尿病、慢性腎不全) を調整した。婚姻状況は、既婚者、独身 (同居者あり)、独身 (一人暮らし) に分類し、就業状況は就労者「労働者」、65 歳未満の非就労者を「非労働者」、65 歳以上の非就労者を「退職者」に分類した。

【結果】

男性では既婚者に比して独身 (一人暮らし) の抑うつ傾向に対する OR : 2.63 (1.33-5.21) が有意に高かった。就業状況については、統計的に有意ではないものの、退職者に対して 65 歳未満「非労働者」の OR : 2.62 (0.99-6.96) が高かった。一方、女性は、婚姻状況抑うつ状態との関連を認めず、就業状況については、「労働者」の OR : 1.87 (1.01-3.45) が統計的に有意に高かった。女性では家計支出と抑うつ傾向との関連を認め、家計支出が最も多い第 4 四分位 Q4 の抑うつ傾向の OR は、第 2 四分位 Q2 (基準群) に比して、1.77 (1.01-3.12) であった。健康保険の加入状況では、「その他・未回答」のカテゴリの OR は、国民健康保険に比して、2.97 (1.24-7.08) であった。一方、男性では、家計支出や健康保険と抑うつ傾向の関連を認めなかった。女性において喫煙習慣は抑うつ傾向との関連を認め、現在喫煙者の OR は非喫煙者に比して 2.72 (1.55-4.77) であった。また、既往歴がない集団に対して、既往歴数が 1 つ以上での OR : 1.63 (1.14-2.34) が有意に高かった。男性は、喫煙習慣や飲酒習慣、既往歴との関連を認めなかった。

【考察】

抑うつ傾向と社会的要因及び生活習慣との横断的な関連を日本人一般集団において明らかにした。性別により、抑うつ傾向と関連する要因が異なり、就業状況、1 か月の等価市支出、喫煙状況と既往数では、性別による交互作用を認めた。K6 をスクリーニングに用いる際には、性別における要因の違いを考慮する必要がある。また、今回、関連を認めた要因を持った対象者に K6 スコアを使用すると抑うつ傾向の人をより効率的にスクリーニングできると考えられる。女性においては、就業状況、高支出などの社会経済的要因、喫煙状況や既往数は抑うつ傾向と関連を認め、それぞれ独立したリスク要因であることが示唆された。健康保険のその他・未回答のカテゴリには生活保護を受給する人が含まれる精神的なケアが必要であると考えられる。抑うつ状態の一次及び二次予防のためには、縦断研究を用いた因果関係の検討が必要である。

第 52 回日本循環器予防学会 (2016 年 6 月 17 日 ~ 18 日 さいたま市) 発表

表1. 多変量ロジスティック回帰分析による男性における抑うつ傾向と社会的要因、生活習慣の関連

男性		Model 1		Model 2		Model 3	
		OR	95% CI	OR	95% CI	OR	95% CI
婚姻状況	既婚者	1.00		1.00		1.00	
	独身(同居者あり)	1.70	(0.80-3.59)	1.52	(0.70-3.33)	1.40	(0.64-3.10)
	独身(一人暮らし)	2.61	(1.35-5.06)	2.76	(1.40-5.43)	2.63	(1.33-5.21)
就業状況	退職者	1.00		1.00		1.00	
	労働者	1.14	(0.54-2.37)	1.31	(0.60-2.86)	1.27	(0.57-2.81)
	非労働者	2.33	(0.94-5.72)	2.81	(1.08-7.40)	2.62	(0.99-6.96)
支出*	Q1			0.90	(0.44-1.82)	0.92	(0.45-1.88)
	Q2			1.00		1.00	
	Q3			0.99	(0.49-2.00)	1.01	(0.50-2.06)
	Q4			0.63	(0.29-1.37)	0.64	(0.29-1.40)
	回答なし			2.03	(0.80-5.11)	1.95	(0.77-5.00)
健康保険	国民健康保険			1.00		1.00	
	被用者保険			1.11	(0.59-2.09)	1.10	(0.58-2.06)
	後期高齢者医療保険			2.14	(0.88-5.20)	2.12	(0.86-5.22)
	その他・未回答			1.27	(0.41-3.93)	1.21	(0.39-3.79)
飲酒状況	非飲酒者					1.00	
	過去飲酒者					0.87	(0.19-4.08)
	< 2合					0.70	(0.40-1.22)
	2合					0.98	(0.44-2.18)
喫煙状況	非喫煙者					1.00	
	過去喫煙者					0.70	(0.37-1.32)
	現在喫煙者					1.14	(0.63-2.05)
既往数	既往歴なし					1.00	
	既往歴1つ以上					1.17	(0.81-1.70)

*支出:1か月の等価平均支出 = 1か月の世帯支出/√(世帯人員)を算出し、四分位(Q1≤8.9万円;Q2 8.9~;Q3 13.23~;Q4 ≥17.5)に分けた

Model1:婚姻・就業状況、年齢

Model2:Model1 + 1か月の等価平均支出、健康保険加入状況

Model3:Model2 + 飲酒・喫煙状況、既往数

既往数:脳卒中、狭心症、心筋梗塞、糖尿病、慢性腎不全

表2. 多変量ロジスティック回帰分析による女性における抑うつ傾向と社会的要因、生活習慣の関連

女性		Model 1		Model 2		Model 3	
		OR	95% CI	OR	95% CI	OR	95% CI
婚姻状況	既婚者	1.00		1.00		1.00	
	独身(同居者あり)	1.11	(0.68-1.80)	1.05	(0.63-1.73)	0.97	(0.58-1.61)
	独身(一人暮らし)	1.22	(0.66-2.24)	1.08	(0.58-2.02)	0.95	(0.50-1.80)
就業状況	退職者	1.00		1.00		1.00	
	労働者	1.82	(1.02-3.24)	1.94	(1.06-3.54)	1.87	(1.01-3.45)
	非労働者	1.37	(0.71-2.62)	1.40	(0.71-2.71)	1.37	(0.70-2.69)
支出	Q1			1.52	(0.86-2.77)	1.61	(0.90-2.87)
	Q2			1.00		1.00	
	Q3			1.45	(0.83-2.53)	1.48	(0.84-2.61)
	Q4			1.70	(0.97-3.00)	1.77	(1.01-3.12)
	回答なし			0.93	(0.39-2.24)	1.05	(0.43-2.52)
健康保険	国民健康保険			1.00		1.00	
	被用者保険			0.83	(0.53-1.29)	0.81	(0.52-1.28)
	後期高齢者医療保険			0.99	(0.46-2.11)	0.98	(0.45-2.11)
	その他・未回答			2.89	(1.22-6.87)	2.97	(1.24-7.08)
飲酒状況	非飲酒者					1.00	
	過去飲酒者					NA	NA
	< 2合					0.88	(0.59-1.31)
	2合					1.91	(0.58-6.32)
喫煙状況	非喫煙者					1.00	
	過去喫煙者					1.25	(0.59-2.62)
	現在喫煙者					2.72	(1.55-4.77)
既往数	既往歴なし					1.00	
	既往歴1つ以上					1.63	(1.14-2.34)

*支出:1か月の等価平均支出 = 1か月の世帯支出/√(世帯人員)を算出し、四分位(Q1≤8.9万円;Q2 8.9~;Q3 13.23~;Q4 ≥17.5)に分けた

Model1:婚姻・就業状況、年齢

Model2:Model1 + 1か月の等価平均支出、健康保険加入状況

Model3:Model2 + 飲酒・喫煙状況、既往数

既往数:脳卒中、狭心症、心筋梗塞、糖尿病、慢性腎不全